

かけはし



尾張旭市立三郷小学校 第5号 令和2年8月27日(木)

あいさつは 心をつなぐ 魔法の言葉！

校長 井田 寿

「おはようございます！」やっぱり、子どもたちの元気な姿はいいなあと思いながら、2学期がスタートしました。外で草取りなどの作業をしていると「お疲れ様です」「がんばってください」という言葉を子どもたちから聞くことがあり、心の励みになっています。三郷小には、感謝を素直に行動で表せる子や人の思いを受け止めて行動できる子が多いことに感心しています。



みさとっ子たちの行動力をもっともっと生かしてほしいことがあります。それは「あいさつ」です。今週、正門や東門付近でプチモニタリング調査（みずからすすんで「おはようございます」「さようなら」とあいさつをしてくれる子どもたちの人数調査）をしたところ、元気なあいさつをしてくれる子は約40%、だまって通り過ぎる子が約60%！？・・・（オーマイガーッ！）。

私が若い頃は、「あいさつは当たり前のことだろ！人としてできなければ恥ずかしいだろ？とにかくあいさつはできなければダメだ。」と当たり前を押しつける言葉ばかり言っていた気がします。あいさつが大事だと伝えるのであれば、「なぜ？Why？」に答えられるようにしておかなければならないと思います。

1 あいさつとは、心を開くこと

元リッツカールトンホテル日本支社長の高野登さんの本『絆が生まれる瞬間』に書いてある言葉です。あいさつの語源をひも解いてみると、禅宗で問答を交わして相手の考えの深さを試す「一挨一拶（いちあい いっさつ）」という言葉に由来するそうです。「挨」には押し開くやお互いに心を開いて近づく、「拶」には迫るや探りよるという意味があります。つまり、あいさつというのはまずは「私はあなたに心を開くよ～」ということです。

2 あいさつとは、生きていることを感謝し合うこと

元ノートルダム清心学園理事長の渡辺和子さんの本『置かれた場所で咲きなさい』に書いてある言葉です。あいさつは「あなたは大切な人なのですよ」と伝える最良の手段であり、お互いがお互いのおかげで生きていることを自覚し合う、かけがえのない機会なのです。つまり、「私はあなたとつながっていて、あなたのおかげで生きていますよ～」ということになります。

お互いに心を開き、生きていることを感謝し合いながらあいさつをすれば、あいさつの大切さが心に染み渡っていくと思います。あいさつは、**周りの人とつながりながらよりよく生きていく魔法の言葉**です。恥ずかしがる必要なんてないのです。とても素晴らしいことをしているのですから・・・。



あいさつが飛び交う明るい学校に！